

深刻化する気候危機

このまま放っておくと
地球はどうなっちゃうの？

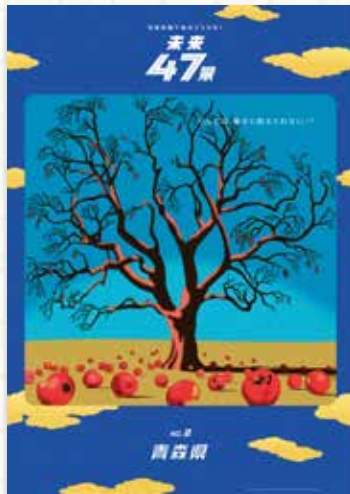
わたしたちの経済活動が気候変動の要因であることが明らかになりました。
極端な気象災害、食料生産の不安、水資源の奪い合いはすでにわたしたちの生活に迫っており、
未来世代の生存を脅かす気候危機に直面しています。

気候変動対策を十分せず、
約4℃気温が上昇した場合

日本では

● 30℃ 以上の日
年間 100日
以上

● 熱中症搬送者
2倍以上 に
増加



日本ではりんごが育たなくなるかも!?

©WWFジャパン提供

● 洪水 が 約4倍
強力な台風 が 増加



2018年台風21号と西日本豪雨による経済損失は推計3兆円程度(東日本大震災時に損害保険会社が支払った金額を超える水準)

世界では

● 約1メートル の 海面上昇

● 食料不足、気候難民 が
大量発生

● 16%の生物種 が、
絶滅リスク に

● 2℃上昇で
99%以上 の サンゴ が 死滅

立憲民主党が提案する 気候変動対策

人が人らしく生きるために不可欠である健全な自然環境を未来へ引き継ぎます。
大量生産・大量消費のライフスタイルから転換し、気候変動を食い止め、
豊かな自然環境を維持・保全する環境政策を実現し、将来世代への責任を果たします。

●再生可能エネルギー100%でカーボンニュートラル

2030年に温室効果ガス排出を55%以上削減し(2013年比)、2050年までの早い時期にカーボンニュートラルを実現します。

●「未来世代法」の制定

国の意思決定に、未来世代の声を反映します。そのために、気候変動の影響など将来への影響を検討し政策に反映させる「未来世代法」を制定します。



豊かな自然環境の指標でもあるミツバチ

でも、気候変動対策をしたら

Q1 電気代が高くなるんじゃないの？

再エネは他の発電方法に比べて一番安い電気です。

Q2 我慢する生活になるんじゃないの？

建物断熱、省エネ家電への切り替えや、使うエネルギー「そのもの」を再エネに変えていきます。

Q3 仕事がなくなるんじゃないの？

再エネの方が地元での雇用創出効果が高く、地域にお金が回ります。

りっけん 暮らしのコラム

生活の中でできる気候変動対策

まだ食べられるのに捨てられている「食品ロス」。国内では、570万トン、一人当たり45キロの食品ロスが発生しています。食料生産には多くの資源・エネルギーが必要なので、温室効果ガスの排出量のうち、約10%は食品ロスが要因と推定されています。これは、自動車からの排出量に匹敵します。気候変動は大きな問題ですが、実はわたしたちの生活と密接に関係しているのです。食品ロスを出さないように、日々の食事や買い物に気を付けてみませんか。



立憲民主党
立憲民主編集部

〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-12-4
ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302

いまこそ
生活安全保障
が必要です。



立憲民主党
ウェブサイト



立憲民主党
政策ページ

▲くわしくはこちらから